

「100年先も必要とされる会社」へ

第95期 第2四半期

株主のみなさまへ

決算ご報告

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

 日本山村硝子株式会社<https://www.yamamura.co.jp/>

株主のみなさまへ

第2四半期決算ご報告と中間配当の見送りについて

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第95期第2四半期累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。

なお、95期の中間配当につきましては、業績の状況を総合的に勘案し、実施を見送らせていただくことといたしました。このように、無配とさせていただくことは、誠に遺憾でございますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

現在、抜本的な事業構造改革を推進し、収益力の向上と資産効率の改善に積極的に取り組んでおります。株主のみなさまに安定的に利益を還元できるよう、経営陣一丸となって全力で対応してまいります。株主のみなさまには、引き続き当社グループへのご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

敬 具

2023年11月



代表取締役 社長執行役員

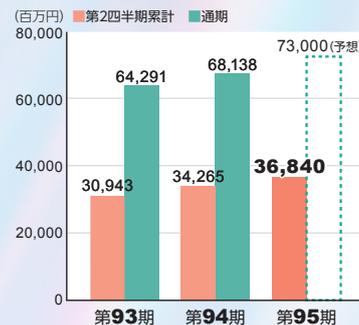
山村幸治

2024年3月期
第2四半期

連結業績ダイジェスト

売上高 ▶ **36,840**百万円

ガラスびん関連事業では国内ガラスびん業界全体の出荷量は減少しましたが、当社のガラスびん出荷は足元では鈍化しているものの同業他社の生産設備縮小の影響もあり増加し、さらに価格改定や品種構成の変化により販売単価が上昇したこと等により売上が増加しました。プラスチック容器関連事業では中国の子会社の販売が好調なことや飲料用キャップの販売単価の上昇、物流関連事業では新規業務による取扱い物量の増加、ニューガラス関連事業では国内子会社における出荷の減少等があり、これらの結果、売上高は36,840百万円(前年同期比7.5%増)となりました。



営業利益 ▶ **3,205**百万円

ガラスびん関連事業では当社において原燃料・動力価格の高騰があったものの販売単価が上昇しました。プラスチック容器関連事業では原料費等の増加があったものの減価償却費の減少や販売単価が上昇しました。物流関連事業では取扱い物量の増加や価格改定およびコスト削減等の損益改善がありました。ニューガラス関連事業では出荷の減少等により損失となりました。これらの結果、営業利益は3,205百万円(前年同期比855.2%増)となりました。



経常利益 ▶ **5,436**百万円

米国の関連会社に係る貸付金が全額返済されたこと等により、持分法による投資利益が大きく改善し1,665百万円(前年同期は持分法による投資損失868百万円)となり、経常利益は5,436百万円(前年同期は△880百万円の損失)となりました。



**親会社株主に帰属する
四半期純利益** ▶ **9,756**百万円

特別利益に事業構造改革計画に基づき実行した固定資産の譲渡や米国の関連会社の持分変動により発生した持分変動利益等を計上しました。法人税等調整額1,555百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,756百万円(前年同期は△22百万円の損失)となりました。

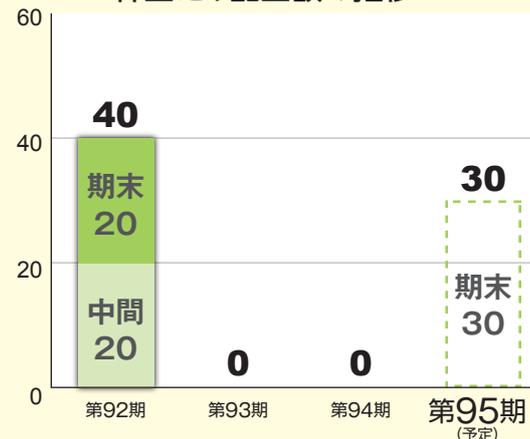


利益分配に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の分配につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずみなさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

しかしながら、業績の状況を総合的に勘案し、中間配当金につきましては、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。期末配当金は1株につき30円とさせていただきます予定です。

1株当たり配当額の推移



宏全國際股份有限公司との業務提携

当社と宏全國際股份有限公司(以下「宏全國際」)は、業務提携覚書を締結いたしました。当社はプラスチック容器関連事業において、国内を中心にお客様のニーズに応じた飲料用プラスチックキャップを確かな品質やサービスのもと生産・販売しております。

宏全國際は食品向けのプラスチック容器・包装関連製品の生産・販売の他、飲料充填の受託生産事業等を幅広く行っている台湾企業です。台湾国内はもとより、中国、東南アジア、アフリカなど、アジアを中心に40箇所以上の生産拠があります。その豊富な製品の種類、高い開発力や生産能力、そして立地を生かした販売網が強みとなっております。

これら両社の持つ強みを生かし、①日本市場における宏全國際製品の販路拡大、②両社による製品のフレキシブルな委託生産、③新製品の共同開発、④両社協力によるワールドワイドな販路拡大、の4つの骨子で業務提携をすることになりました。

当社と宏全國際は、この業務提携を推進していくことによる相乗効果で、開発力を高め、生産・販売を拡大し、さらなる発展を目指してまいります。



水薬計量器具「シロップぴったりシロピィ」を発売

当社と学校法人昭和大学は共同で、小児用水薬(シロップ)を正確かつ簡便に計量可能な新たな水薬計量器具「シロップぴったりシロピィ」を開発し、発売いたしました。

開発の背景

乳幼児に水薬を投薬する際、水薬の種類によっては正確な量を服用する必要性があり、また、処方箋の指示通りに計量しても、水薬調剤の特徴から最後に水薬の過不足が生じることがありました。従来の方法で正確に計量するには、計量カップに注入した液体の液面に目の高さを合わせて計量する必要があり、操作が不安定でした。そのため、計量誤差が発生しやすく微量の水薬を計量することは難しい状況でした。

そこで、水薬を正確かつ簡便に計量出来る計量器具の開発に取り組みました。

新規開発製品「シロップぴったりシロピィ」の特徴

本計量器具は、まず、水薬容器にノズルを装着します。このノズルに設けた柱部を、軽量カップに設けた必要容量の階段部に合わせることで、計量カップ底面とノズル先端の距離が一定に維持されるようになっています。また、余分に押し出された場合には、容器の復元力でノズルの先端まで吸引されるため、あわせて容量で正確に計量できる構成にしたものです。

5つの容量(1ml、1.5ml、2ml、2.5ml、3ml)が計量できます。

ポイント - point -

- 正確** シロップ剤を素早く正確に計量できます。
- 5種類** 1ml、1.5ml、2ml、2.5ml、3mlの5種類が計れます。
- 水薬** 一般的な樹脂製の投薬瓶に装着可能です。
- 再利用** 洗って何度も使えます。



使い方 - how to use -



1 取付ける
ノズルを投薬瓶に取付けます。上から矢印の向きに押しながら回すと、まっすぐに締まります。

2 ステップに合わせる
ノズルの柱を必要な計量カップのステップに合わせます。

3 シロップ剤を出す
投薬瓶を逆さにして、投薬瓶からシロップ剤をゆっくり押し出します。

4 計量完了!
シロップ剤の液面が、ノズルの先端を超えたら計量完了です。
※余分に出たシロップ剤は投薬瓶の復元力で吸い上げられます。



5 服用
計量カップでそのまま服用できます。



6 保管
保管の際にはオーバーキャップを装着してください。

SBT認定を取得

当社およびグループ会社の温室効果ガス排出量削減目標が「Science Based Targets(サイエンス・ベースド・ターゲット、以下SBT※)」を認定する機関「SBTイニシアティブ」より、1.5°C水準短期目標のSBT認定を取得いたしました。

山村グループの温室効果ガス排出量削減目標

Scope1・Scope2：2030年度までに46.2%削減(2019年度比)

Scope3：2030年度までに27.5%削減(2019年度比)

当社では、持続可能な社会の実現のため、地域および環境との調和を重要な経営課題と認識し、すべての事業活動において関連法規を順守するとともに、省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物削減に努め、地球環境負荷の低減に、より一層貢献してまいります。

※SBT(Science Based Targets) 国際的な枠組みである「パリ協定」が求める水準と整合した、温室効果ガス排出削減目標



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

会社の概要 (2023年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)
 新宿グリーンタワービル20階
 創業 1914年4月5日
 設立 1941年12月11日
 資本金 140億7,496万5,448円
 従業員数 745名
 上場証券取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本山村硝子取引先持株会	684千株	6.71%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	437	4.29
株式会社三井住友銀行	425	4.16
フレディスイスルクセンブルグ エスエー カスタマー アセツツ ファンズ ユーシツツ	321	3.14
山村幸治	305	2.99
日本山村硝子従業員持株会	287	2.81
日本生命保険相互会社	284	2.78
株式会社SBI証券	245	2.41
INTERACTIVE BROKERS LLC	239	2.34
株式会社三菱UFJ銀行	229	2.24

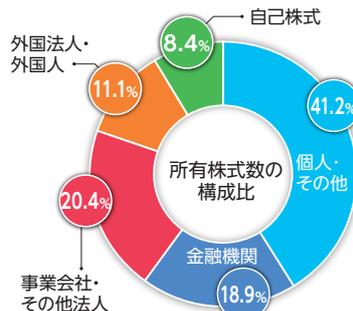
(注) 1. 当社は、2023年9月30日現在、自己株式933千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 所有株式比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。
 4. 所有株式数は表示単位で切り捨て表示をしております。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 30,000千株
 発行済株式の総数 11,145千株
 株主数 7,770名
 単元株式数 100株

所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	7,425名	4,584千株
金融機関	19	2,107
事業会社・その他法人	240	2,278
外国法人・外国人	85	1,240
自己株式	1	933
合計	7,770名	11,145千株



役員 (2023年9月30日現在)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役社長執行役員 山村 幸治
 取締役常務執行役員 小林 史吉
 コーポレート本部、研究開発センターおよび植樹事業部管掌
 取締役常務執行役員 明神 裕
 ガラスびんカンパニー社長
 取締役執行役員 山村 昇
 プラスチックカンパニー社長およびグループサステナビリティ推進部管掌
 取締役執行役員 田口 智之
 ニューガラスカンパニー社長

監査等委員である取締役

取締役常勤監査等委員 水田 好彦
 取締役監査等委員(社外) 井上 善雄
 株式会社巴川製紙所代表取締役社長(独立役員)
 取締役監査等委員(社外) 高坂 佳郁子
 弁護士(独立役員)
 取締役監査等委員(社外) 泉 豊祿
 ハウスイテック株式会社代表取締役社長(独立役員)

執行役員

執行役員 佐貴 正義
 監査等委員会室長
 執行役員 植田 光夫
 環境室管掌
 執行役員 井料田 保二
 コーポレート本部長
 執行役員 木村 周二
 研究開発センター長
 執行役員 副島 正義
 ガラスびんカンパニー営業本部長

買取・買増制度をご利用ください



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日 株主確定日	3月31日
中間配当金受領日 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式		お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)		[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	
(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。		
○証券会社等の口座に記録された株式		お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ		
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	